

## 「漢字文化で春になりました」の授業シナリオ

- ① 地面から芽が出て、双葉が開き、芽が伸びていく様子を提示する。

『この様子から、作られた漢字があります。予想して、ノートに書いてご覧なさい』

正解を告げる。

別の解釈があることを、絵を見せながら紹介する。

『昔に人々は、土にはすべてのものを生み出す力があると考えていました。確かに、私達が食べるお米も野菜は土の力でのびてきます。金属も土の中から出てきます。私達が住んでいる家も土の上に立っています。そこで、人々は、土はすべてのもとだとして、土を盛り上げてまつたのです』

『みなさんは、どちらの考えに賛成ですか』

絵を見せて、たずねる。

- ② 竹や筆で字を書いている絵を示しながら

『今もそうですが、昔に人は、竹を使って、いろいろなものを作りました。例えば、字を書くためのものを作りました。その竹と字を書いている様子が組み合わせられて、1つの漢字が出来上がります。3年生で習う漢字ですが、何でしょうね』

- ③ 『土と筆、どちらも、昔の中国の人が考え出した漢字ですが、こうして考えてみると、漢字の文化を感じてしまいます。よく考えましたよねえ。』

- ④ 「と」をなくして

『さて、「と」をなくすと「土筆」となりました。読み方をノートに書いてご覧なさい』

書いたものを発表させる。

『それぞれの漢字を、絵に表してみましよう。ちょっとへんなの・・・こんな様子にすると・・・』

正解を告げる。

『中国から伝わってきた漢字を使って、昔の日本人は別の読み方や使い方を考え出しました。昔の日本人もなかなか大したものだと思いませんか。』